

| 基本戦略 | 個別戦略 | 具体的取組 | | 担当T | 実施スケジュール | | | | | |
|------------------------------------|------------------------------|-------|-----------------------------------|---|---------------------------------------|---|--------|--------|---|--|
| | | 名称 | 概要 | | 短期 | | | 中期 | | |
| | | | | | 令和8年度 | 令和9年度 | 令和10年度 | 令和11年度 | 令和12年度 | |
| 1 安全・安心な運行サービスの提供 | ① 安全対策の強化 | (1) | 「輸送の安全確保」に係る実効性がある運転士教育とチェック体制の強化 | 「高槻市営バス人材育成基本方針」に対応した直観的にわかりやすい教習カリキュラムの策定や、客観的に技量を評価できる教習の導入など、運転士訓練体制強化に取り組みます。教官の指導技量向上やアップデートにも取り組み、適切な教習効果測定や運転士の技量チェック体制を強化し、底上げを図ります。 | 運行管理T | ①高槻市営バス人材育成基本方針に対応した教習カリキュラム・教本策定検討 ②先進事業者の手法研究と研修の高度化 | | | ①新たな教習カリキュラム・体制による運転士訓練の推進 ②客観的な技量評価による運転士フォローアップの実施 | |
| | ①運転士グループによる自主研修の継続と研修内容設定の支援 | | | | | 【取組予定】 現行の乗務員教習の拡充を進めるとともに、新人教習のあり方について検討する。 | | | | |
| | ② 接客サービスの向上 | (1) | 教習の強化による運転士のポトムアップと接客の品質向上 | 運転士に求められる接客の具体的なレベルの明確化と交通部研修体系に図示している研修内容を確実に実施します。接客サービスと心構え等を示した運転士の教習用教本の内容について、現在求められているサービス水準の一步先を行くように検討します。 ・班(グループ)研修で取り組んでいる接客に関するロールプレイングについて、班長・副班長等の実体験を元に構成するなど、より実践的でわかりやすい内容となるように検討します。 | 運行管理T | ①高槻市営バス人材育成基本方針」に対応した教習体制確立・教本策定検討 | | | ①新たな教本・教習体制での接客教習の実施とPDCA推進 | |
| ①運転士グループによる接客ロールプレイングの継続と研修内容の設定支援 | | | | | 【取組予定】 教習用教本の改定を前提に現行のカリキュラムを検証する。 | | | | | |

■高槻市営バス経営戦略(改定版) 進捗管理表

| 基本戦略 | 個別戦略 | 具体的取組 | | 担当T | 実施スケジュール | | | | |
|---------------------|-------------|-------------------------|--|----------------|---|-------|--|---|--------|
| | | | | | 短期 | | | 中期 | |
| | | 名称 | 概要 | | 令和8年度 | 令和9年度 | 令和10年度 | 令和11年度 | 令和12年度 |
| 2 快適で質の高いサービスの提供 | ③ 利便性の向上 | (1) 旅客案内の高度化 | 市営バスDX推進ロードマップと連動し、お客様への情報発信の適切化を検討します。 鉄道駅と接続する主要バスターミナルでのスマートバス停等の導入を検討します。 DX技術の活用により、運転士や案内窓口の負担軽減と設置に伴う維持管理コスト軽減を検討します。 | 企画T ダイヤ・施設T | ①市営バスDX推進ロードマップと連携した駅ターミナルバス停乗場場のDX化検討 | | | ①駅ターミナルバス停乗場場のDX化実施 ②AI活用等によるバス停施設での情報案内高度化の検討 | |
| | | | | | | | ①わかりやすくタイムリーな情報発信によるバス利用促進 ②DX化・GX化による環境負荷低減や効率化の推進 | | |
| | | (2) 運賃キャッシュレス決済の導入検討 | 次世代型運賃箱への更新(置き換え)タイミングで、現行のICカード決済(市営バスICカード“Tsukica”及び全国交通系ICカード)に加え、クレジットカードやQRコード等での決済対応を検討します。 現金で支払いをされるお客様の両替等による車内事故防止やスマートな降車促進を目指して、つり銭方式の導入(現行の両替方式の廃止)も併せて検討します。 | 企画T 財務T | ①運賃箱の更新に合わせた運賃キャッシュレス決済の導入検討 | | | ①スルッとQRttoやKANSAI MaaSアプリ等への対応と更なるサービス拡大 | |
| | | | | | ①お客様の支払いのストレス軽減による利便性向上とバス運行の安全性や定時性を確保 ②このとりバス等の乗降ODデータの取得率向上による、より合理的で利便性の高いダイヤの検討 | | | | |
| | | | | | 【取組予定】 | | | | |
| | | | | | 【企画T】 DX技術の活用を踏まえ、駅ターミナル等における市営バス運行情報の提供手法を検討する。 【ダイヤ・施設T】 デマンド交通との乗継ぎ等のダイヤ編成について、ODデータを活用しながら検討を行う。 | | | | |
| | | | | | 【取組予定】 | | | | |
| | | | | | 【企画T】 現行運賃箱の更新時期を踏まえ、市営バス運賃キャッシュレス化の方向性を検討する。 【財務T】 運賃箱キャッシュレス化にあわせた収入管理システム等売上管理を整理する。 | | | | |

■高槻市営バス経営戦略(改定版) 進捗管理表

| 基本戦略 | 個別戦略 | 具体的取組 | | 担当T | 実施スケジュール | | | | |
|------|---------|-------|---|----------------|---|-------|--------|----------------------------|--------|
| | | | | | 短期 | | | 中期 | |
| | | 名称 | 概要 | | 令和8年度 | 令和9年度 | 令和10年度 | 令和11年度 | 令和12年度 |
| 2 | ③利便性の向上 | (3) | <p>先進的車両の導入検討(安全性向上・合理化等)</p> <p>お客様や運転士の安全確保に係る装置(運転支援システム)が実装された車両へ置き換えます。 燃料電池やバッテリーEV等軽油に代わるエネルギーで走行するバス(低炭素化)を研究します。 自動運転バスの開発動向把握と導入に向けた課題や導入事例等の情報収集に努めます。</p> | 運行管理T 企画T | ①先行バス事業者・先進自治体による取組と課題の把握 ②電気バス等低炭素車両の試験導入時期の検討 | | | ①低炭素車両の試験導入 ②庁内関係部署との連携 | |
| | | | | | ①車両入れ替え(更新)による安全性と経済性の向上 ②他の自治体やバス事業者での自動運転技術実証実験動向調査 | | | | |
| 2 | ③利便性の向上 | (4) | <p>交通需要や市民生活に即した路線再編及びダイヤ適正化</p> <p>ODデータを活用しながら、より利用しやすい沿線需要に応じたダイヤ編成や路線の再編を検討します。 長距離路線については、駅ターミナル等の中心市街地への直通運行にこだわらず、ゾーンバスと幹線バスとの乗継方式を導入する等、柔軟な検討を行います。 小型モビリティやオンデマンド交通等、より小回りの効く利便性の高い交通手段に転換する等、市の交通政策と連携を図りながら役割分担と調整を行います。 新しい道路整備や公共施設の整備等、沿線住民の生活環境や生活様式の変化に応じて、新たな需要が見込まれる経路への変更を検討します。</p> | ダイヤ・施設T 企画T | ①山間路線の検討、南部エリア路線の検討 | | | ①東部・北東部・南西部エリア路線の検討 | |
| | | | | | ①ODデータに基づく利用状況や新たな道路整備状況等を踏まえ、適宜、適切に路線の効率化等を検討 | | | | |
| | | | | | 【取組予定】 | | | | |
| | | | | | 【運行管理T】 車両更新計画に基づき、安全確保に係る装置が実装された車両に更新していく。先進的車両に係る情報収集を継続的に行っていく。 【企画T】 レベル4の自動運転技術の社会実装を踏まえ、課題や導入事例等の情報収集を行う。 | | | | |
| | | | | | 【ダイヤ・施設T】 デマンド交通との乗継ぎ等のダイヤ編成について、ODデータを活用しながら検討を行う。 【企画T】 令和7年度に開始した樫田地域のデマンドバス実証運行を踏まえ、市の交通政策と連携し、他の山間路線(萩谷・川久保)への導入を検討する。 路線毎の収支状況及び、新たな道路や公共施設等の整備状況を踏まえ、市営バス路線の再編を検討する。 | | | | |

■高槻市営バス経営戦略(改定版) 進捗管理表

| 基本戦略 | 個別戦略 | 具体的取組 | | 担当T | 実施スケジュール | | | | |
|--|-----------------|--------------------------|--|----------------|---|-------|--------|--------------------------------------|--------|
| | | | | | 短期 | | | 中期 | |
| | | | | | 令和8年度 | 令和9年度 | 令和10年度 | 令和11年度 | 令和12年度 |
| 2 快適で質の高いサービスの提供 | ④顧客ニーズの的確な把握 | (1) アンケート調査等の実施 | お客様のニーズを把握し、利用促進やサービスの充実につなげていくため、継続的なアンケート調査の実施を検討します。 | 企画T | ①テーマを絞った小規模なWEB等によるアンケートの実施を検討 ②大規模なお客様アンケート実施に向けた項目の検討 | | | ①大規模なお客様アンケートの実施を検討 | |
| | | | | | ①アンケート結果のフィードバックと、今後も必要となるサービスの精査と改善 | | | | |
| 3 まちづくりと連携したサービスの提供 | ⑤定住促進・子育て支援との連携 | (1) モビリティ・マネジメントの体系化 | 市営バスに乗ることが習慣づけられるような入口作り、きっかけ作り、話題性作りを検討します。 こども運転席を設置した「たかつきばすお号」を活用したイベント展開を検討します。 市内中学生を対象とする「(仮称)市営バス職業体験」の実施を検討します。 | 企画T 運行管理T | ①副教材(絵本等)作成やバスの乗り方教室等の出前授業実施など、教育現場と連携した利用促進策の検討 ②市内中学生を対象とする「市営バス職業体験」の検討 | | | ①副教材等を利用した利用促進策の実施 ②「市営バス職業体験」の実施 | |
| | | | | | ①将来の顧客確保につながる取組の推進(子ども向けイベントへの車両展示等) | | | | |
| | | (2) 子育て世代支援と連携した乗車券施策の検討 | コード決済での乗車等、新たな乗車券方式との連携による利便性向上とご利用状況の可視化を検討します。 私立高校の無償化等、広域での通学利用を見据えた子育て支援乗車制度の拡充を検討します。 | 企画T ダイヤ・施設T | ①子育て支援乗車制度の拡充検討 ②子育て支援乗車券電子化の情報収集 | | | ①子育て支援乗車券電子化の具体的検討 | |
| ①ライフステージに応じた各種割引サービスの継続 | | | | | | | | | |
| 【取組予定】 | | | | | | | | | |
| 【企画T】 | | | | | | | | | |
| 「運賃キャッシュレス決済の導入検討」と連携し、こうのとりバス、かるがもバス、おでかけバスのデジタル化を検討する。 市の子育て世代施策と連携し、現行の割引乗車制度の拡充を検討する。 | | | | | | | | | |
| 【ダイヤ・施設T】 | | | | | | | | | |
| より厳密なODデータの収集により、利用状況を反映させたダイヤ編成を検討する。 | | | | | | | | | |

■高槻市営バス経営戦略(改定版) 進捗管理表

| 基本戦略 | 個別戦略 | 具体的取組 | | 担当T | 実施スケジュール | | | | |
|------------------------|-----------|------------------------|--|----------------|---|-------|--------|---|--------|
| | | | | | 短期 | | | 中期 | |
| | | 名称 | 概要 | | 令和8年度 | 令和9年度 | 令和10年度 | 令和11年度 | 令和12年度 |
| 3 まちづくりと連携したサービスの提供 | ⑥拠点整備との連携 | (1) 新たな拠点整備に伴う交通需要への対応 | 今後、予定されている市の施設整備や、新たな道路の供用開始等を踏まえ、ダイヤ編成及び路線再編を検討します。 | 企画T ダイヤ・施設T | ※下記の項目に合わせた検討 ①たかつき未来パーク ②(府道)十三高槻線(Ⅱ期)・新名神高速道路関連道路 ③ 富田地区まちづくり・芥川山城跡 | | | ※下記の項目に合わせた検討 ① JR高槻駅南地区 ② 富田地区まちづくり ③ 芥川山城跡 | |
| | | | | | ①ODデータ等に基づくダイヤ改正及び路線再編検討(計画期間中に、適宜実行) | | | | |
| | | | | | 【取組予定】 | | | | |
| | | | | | 【企画T】 たかつき未来パーク、(府道)十三高槻線及び新名神高速道路周辺道路等の新たな施設や道路整備等を踏まえ、市営バス路線の再編を検討する。 【ダイヤ・施設T】 関係各所と調整しながら、ダイヤ編成及び路線再編についての検討を行う。 | | | | |

■高槻市営バス経営戦略(改定版) 進捗管理表

| 基本戦略 | 個別戦略 | 具体的取組 | | 担当T | 実施スケジュール | | | | |
|--------------|---|-------------|---|----------------|---|--|--------|---------------------------------------|--------|
| | | | | | 短期 | | | 中期 | |
| | | 名称 | 概要 | | 令和8年度 | 令和9年度 | 令和10年度 | 令和11年度 | 令和12年度 |
| 4 経営基盤の強化 | ⑦人材の確保・育成と組織力向上 | (1) 運転士等の確保 | 令和7年度から開始する「大型二種免許取得支援制度」の導入による効果や方向性を分析します。他のバス事業者が実施している運転士確保の方法を研究し、市営バス路線網の維持確保の参考にします。 | 総務T | ①大型二種免許取得支援制度の運用 ②新たな教習制度との連携 | | | ①離職者の低減 ②他のバス事業者での採用方法研究 | |
| | ①運転士定着率の向上 ②市内のバス需要見極めと運転士適正人数の精査 | | | | | 【取組予定】 令和7年度から開始した「大型二種免許取得支援制度」の効果や方向性を分析する。他のバス事業者が実施している運転士確保の手法を研究する。 | | | |
| 4 経営基盤の強化 | ⑧効率的な経営・収支の改善 | (1) DX化の推進 | 組織内の体制の定義、役割分担、役割ごとの必要なスキルと取組の定義、それを実現するための人材育成プランを策定し、それに基づく取組を検討します。何をいつまでにどのレベルまで実現し、それを元に次に何を進めていくかを全員が共有できるよう、それを完遂するためのロードマップを策定し、それに基づく取組を検討します。 | 企画T ダイヤ・施設T | ①市営バスDX推進ロードマップ策定検討 ②DX人材育成プログラム策定検討 | | | ①市営バスDX推進ロードマップ及びDX人材育成プログラムに基づく取組の推進 | |
| | ①ODデータの更なる活用検討 ②ICTガバナンスに基づく各種システムの保守及び必要経費の照査 ③DXの活用による業務の効率化など(計画期間中に、適宜実行) | | | | | 【取組予定】 【企画T】 令和6年度に策定した「市営バスDX推進基本方針」に基づき、ロードマップを策定し、それに基づく取組を検討する。 【ダイヤ・施設T】 ODデータを新ダイヤシステムの機能を用いて、より効率的にダイヤ編成を行えるよう検討する。 | | | |

